

平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見てきた成果・課題と今後の取組について－

区 名	天王寺区
学 校 名	大阪市立夕陽丘中学校
学校長名	中務高俊

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日（火）に、3年生を対象として、「教科（国語・数学）に関する調査」と「生徒質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、生徒の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、数学）
 - ・主として「知識」に関する問題（A問題）
 - ・主として「活用」に関する問題（B問題）
- (2) 質問紙調査
 - ・生徒に対する調査
 - ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の中学校第3学年の原則として全生徒
- ・大阪市立夕陽丘中学校では、第3学年 164名

平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語A、数学A・Bについて全国の平均正答率を上回った。領域別では、国語A・Bの「書くこと」、国語Bの「国語の特質に関する事項」及び数学A・Bの「資料の活用」が全国の平均正答率を下回った。平均無解答率では全国平均より高いことが本校の課題であり、国語B、数学A・Bが全国平均を上回った。

生徒質問紙調査からは、学校の授業以外に1日あたり勉強する時間が2時間以上と回答している割合が全国平均より21.5pt高く、学習に対する意欲が強い。しかし、ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったと肯定的に回答した割合が、全国平均より5.2pt低く、無回答率の高くなった一つの要因と考えられる。

分析から見てきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕 A問題では全国の平均正答率を0.6pt上回った。しかし、B問題では全国の平均正答率を0.2pt下回った。領域別ではA・B問題とも「話すこと・聞くこと」と「読むこと」は全国平均正答率を上回った。また、「書くこと」は全国平均正答率を下回った。以上から、身についた知識を活用し場面の展開や登場人物の描写に注意して読み、内容を理解する力がついていると考えられる。しかし、作文など自分の考えを書くことの苦手意識を払拭することが必要である。

〔数学〕 A問題では3.4pt、B問題では0.9pt全国の平均正答率を上回った。領域別ではA・B問題とも「数と式」と「関数」の正答率が2pt以上全国平均正答率より高いが、「資料の活用」では全国平均正答率を下回っている。習熟度別少人数授業を「数と式」で実施し、基礎的な計算の練習問題を、繰り返し取り組んだ成果が出たといえる。「資料の活用」では、学習時期が年度末で、十分に取組むことができなかったことが要因であると考えられる。

質問紙調査より

朝食の喫食や就寝・起床の時刻などについては肯定的な回答割合がほぼ全国平均であり、基本的な生活習慣は身につけていると思われる。

学習習慣については、上記の概要の通り、日常の学習時間は全国と比較して多い。しかし、家で学校の授業の復習をしている・学校の宿題をしていると肯定的な回答割合は全国平均より、それぞれ1.4pt・5.2pt低くなっている。学校の部活動については、全国平均より低いものの77.8%の生徒が参加している。一方、通塾率(家庭教師を含む)が全国平均より23.5pt高く、学校生活と塾の両立を日々やりくりしている様子がわかる。

今後の取組

国語では、読書を全くしない割合や読書が好きな割合が全国平均程度になり、ここ数年の取組みの効果がでてきていると考えられる。今後も自主的な読書だけでなく、学習活動として読書に取り組む時間を確保していきたい。数学では、無解答率が全国平均より高く、さらに、説明する問題を最後まで解答を書こうと努力しましたかに対する肯定的な回答割合も全国平均より4.4pt低く、説明(記述式)の問題にもねばり強く取組める様に、ICT機器を活用したり、アクティブラーニングを取り入れたりして自分の考えを発表する場を増やす授業改善を行っていくことが必要である。さらに、自分にはよいところがあると思いますかに対する肯定的な回答割合が全国平均より8.6pt低い。このことは本校の課題であるが、自尊心を高めるため、取組みを工夫したり道徳の時間の読み物教材を研究したりする必要がある。

【 全体の概要 】

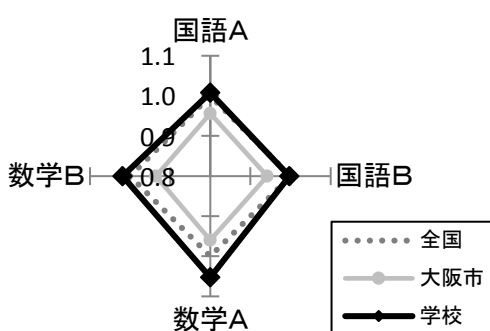
平均正答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	78	72	68	49
大阪市	74	68	62	45
全国	77.4	72.2	64.6	48.1

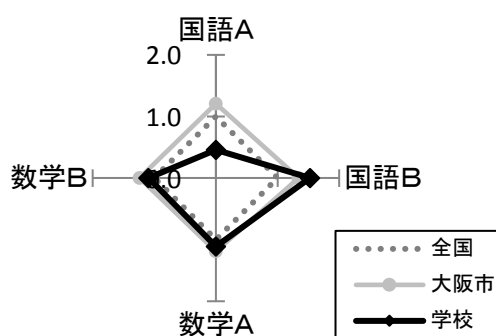
平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	数学A	数学B
学校	1.1	5.8	7.0	12.8
大阪市	2.9	5.1	7.5	14.5
全国	2.4	3.8	6.3	11.7

平均正答率(対全国比)



平均無解答率(対全国比)



【 国語 】

A 問題

平均正答率(%)

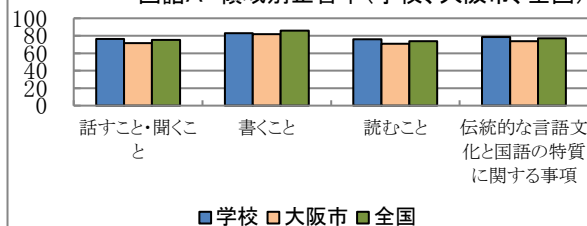
学習指導要領の領域等		問数	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
話すこと・聞くこと	4	76.5	71.6	75.4	
書くこと	4	82.9	81.8	85.7	
読むこと	6	75.8	70.7	73.8	
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	18	78.6	73.9	77.2	

B 問題

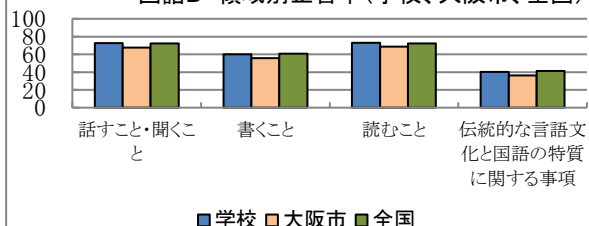
平均正答率(%)

学習指導要領の領域等		問数	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
話すこと・聞くこと	3	72.8	67.5	72.4	
書くこと	4	59.9	55.6	60.8	
読むこと	4	73.0	68.7	72.1	
伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	1	40.1	36.3	41.4	

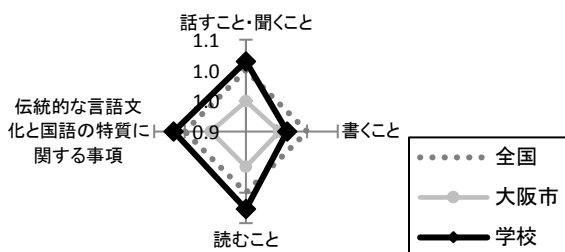
国語A 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



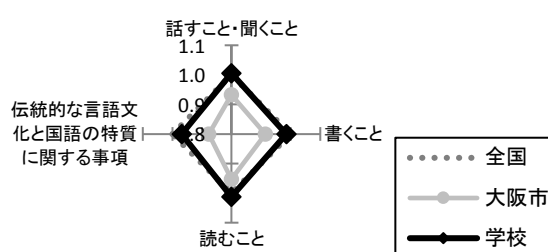
国語B 領域別正答率(学校、大阪市、全国)



国語A 領域別正答率(対全国比)



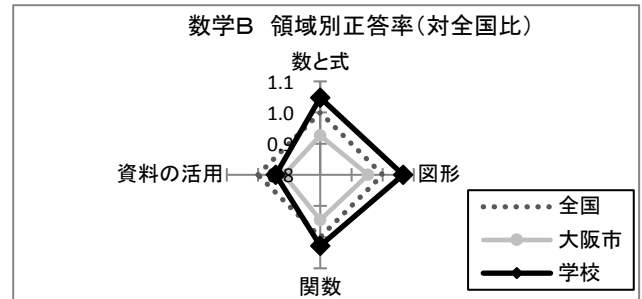
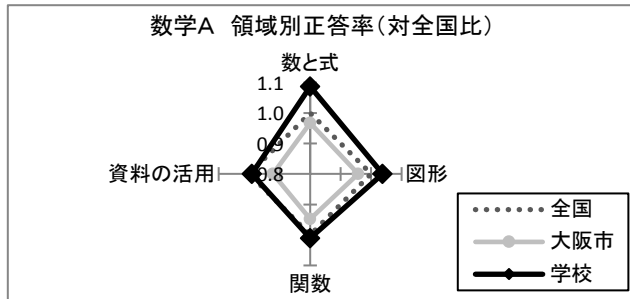
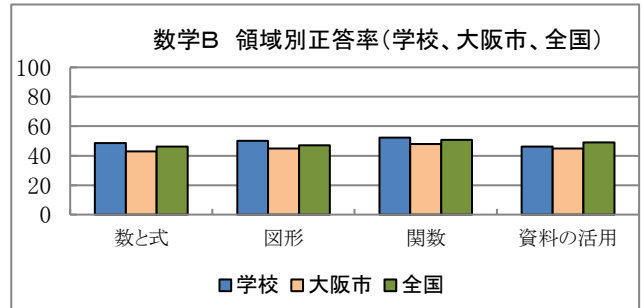
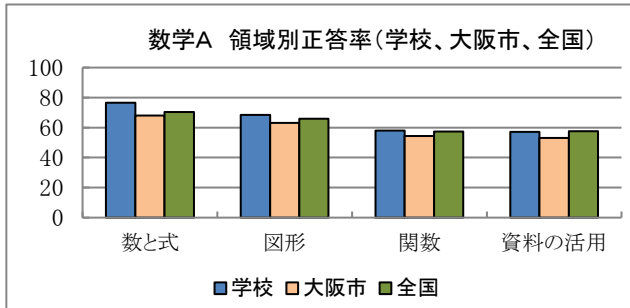
国語B 領域別正答率(対全国比)



【 数 学 】

A 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	12	76.5	68.1	70.4
	図形	12	68.5	63.2	66.0
	関数	8	58.0	54.4	57.4
	資料の活用	4	57.1	53.1	57.6

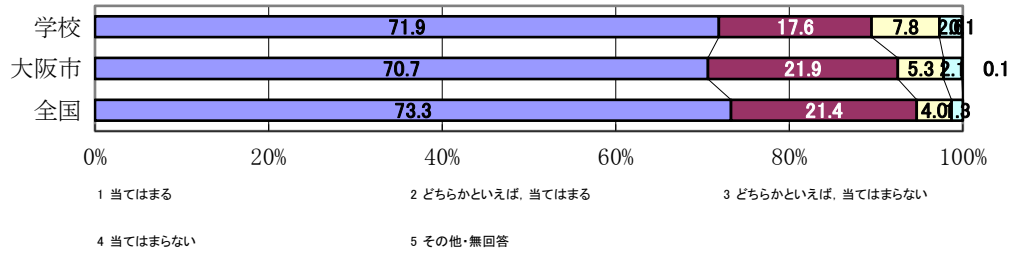
B 問題			平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指導要領の 領域等	数と式	3	48.5	42.9	46.3
	図形	6	50.2	44.9	47.1
	関数	3	52.2	48.0	50.8
	資料の活用	3	46.3	45.0	49.1



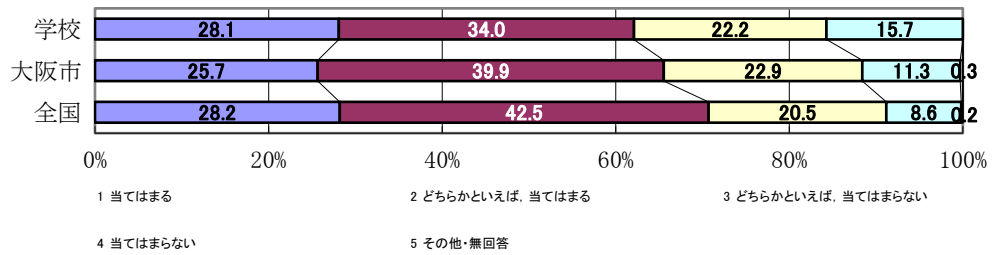
生徒質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11

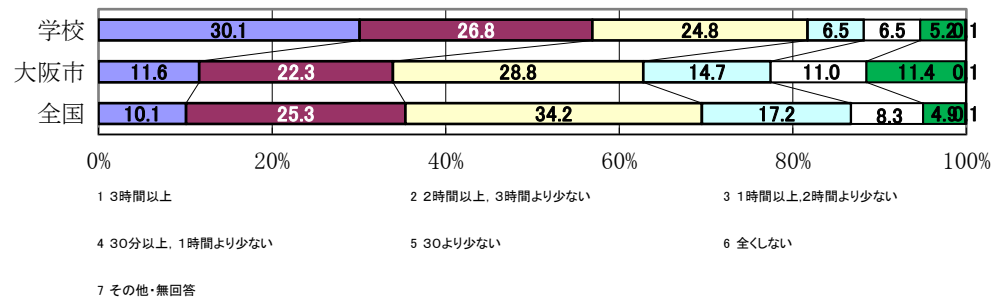
質問番号
質問事項
4
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか



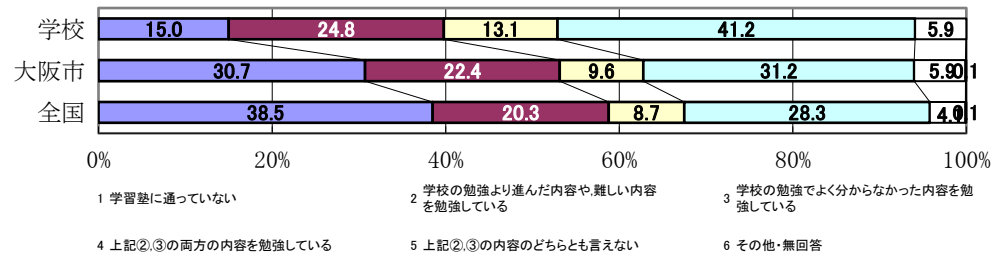
6
自分には、よいところがあると思いますか



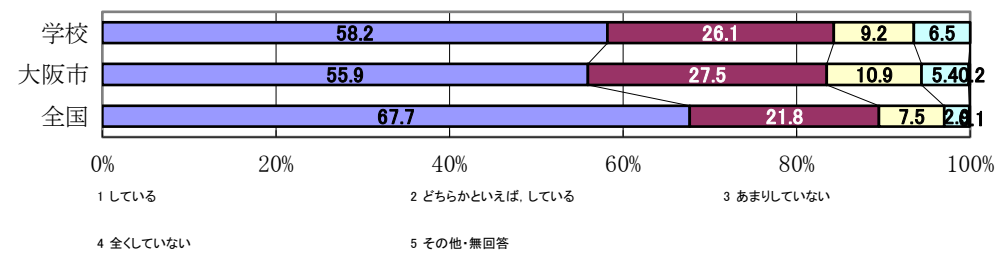
15
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む)



17
学習塾(家庭教師を含む)で勉強をしていますか



32
家で、学校の宿題をしていますか



学校質問紙より

□1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 □8 □9 □10

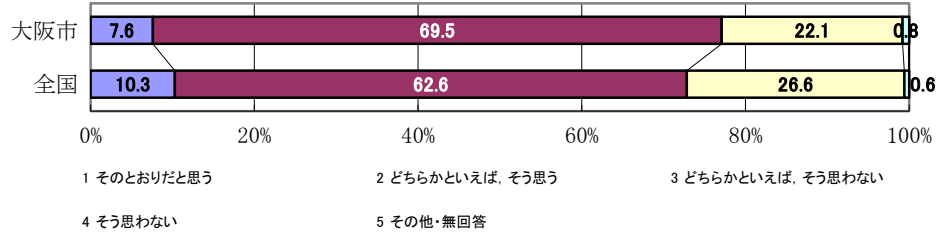
質問番号

質問事項

17

調査対象学年の生徒は、学級やグループでの話し合いなどの活動で、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

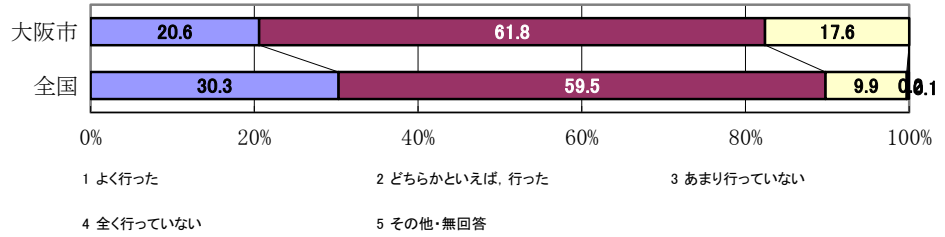
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



47

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、道徳の時間において、生徒自らが考え、話し合う指導をしましたか

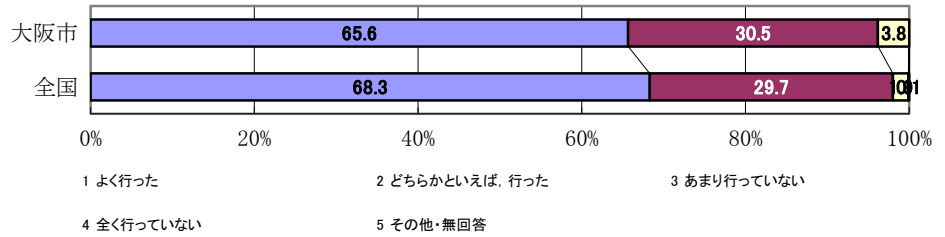
学校 「よく行った」を選択



48

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学習規律(私語をしない、話をしている人の方を向いて聞く、聞き手に向かって話をする、授業開始のチャイムを守るなど)の維持を徹底しましたか

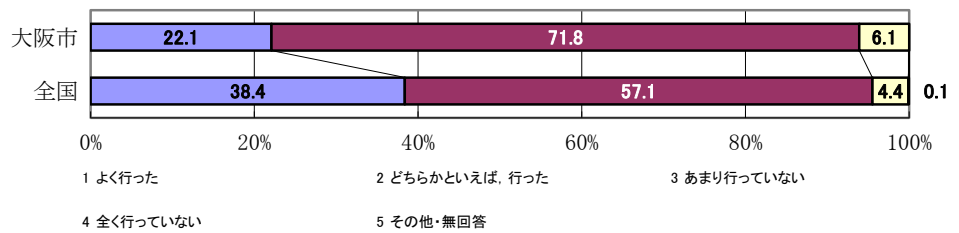
学校 「よく行った」を選択



51

調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、学校生活の中で、生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ、生徒に伝えるなど積極的に評価しましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択



86

学校支援地域本部などの学校支援ボランティアの仕組みにより、保護者や地域の人が学校における教育活動や様々な活動に参加してくれますか

学校 「参加してくれる」を選択

